

# 聖霊降臨節第7主日

朝第1礼拝 9:00~10:10

朝第2礼拝 10:30~12:00

&lt;神の招き&gt;

前 奏 ①愛するイエスよ、我らここに集い バッハ  
②天にまします我らの父よ ブクステフーデ

招きの詞 詩編100編1~5節

交読詩編 52:1~9

讚美歌 9

&lt;神の言葉&gt;

聖 書 創世記22:15~18  
(旧約 聖書協会共同訳 29頁)  
ヘブライ人への手紙6:13~20  
(新約 聖書協会共同訳 398頁)

祈 禱

讚美歌 56

説 教 「神の確かな約束」 熊江秀一牧師

祈 禱

黙 想

讚美歌 474

聖 餐

讚美歌 78

&lt;神への応答&gt;

信仰告白 日本基督教団信仰告白

献 金

主の祈り

宣教報告②

頌 栄 28

派遣と祝福

後 奏 ①救い主キリストは死に打ち勝ち バッハ  
②イエス・キリスト、我らの救い主 シャイデマン

宣教報告①

夕礼拝 18:00~19:10

&lt;神の招き&gt;

前 奏 神をのみ愛する人は クレブス

招きの詞 詩編100編1~5節

交読詩編 52:1~9

讚美歌 141

&lt;神の言葉&gt;

聖 書 詩編89:10~13  
(旧約 聖書協会共同訳 909頁)  
ルカによる福音書8:22~25  
(新約 聖書協会共同訳 117頁)

祈 禱

讚美歌 462

説 教 「信仰はどこにあるのか」

佐藤潤伝道師

祈 禱

黙 想

讚美歌 521

聖 餐

讚美歌 78

&lt;神への応答&gt;

信仰告白 日本基督教団信仰告白

献 金

主の祈り

宣教報告

頌 栄 26

派遣と祝福

後 奏 永遠なる主なる神よ J.M. バッハ

## 今週の御言葉

私たちはこの希望を、魂のための安全で確かな錨として携え、垂れ幕の内側へと入って行くのです。イエスは、私たちのために先駆者としてそこへ入って行き、永遠にメルキゼデクに連なる大祭司となられました。(ヘブライ人への手紙6:19~20)

## 次週の礼拝(7月12日) 部落解放祈りの日

① 9:00、② 10:30

説教「神に近づく希望」

熊江秀一牧師

創世記14:17~20、

ヘブライ人への手紙7:1~19

交読詩編119:129~136

讚美歌10、57、451、28

☑ 18:00

説教「正気を取り戻す」

佐藤潤伝道師

ダニエル書4:31~36、

ルカによる福音書8:26~39

交読詩編119:129~136

讚美歌14、157、461、26

■今週の祈禱課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 地域会の為に
4. 牧師・伝道師の為に
5. 関連幼稚園（大宮、植竹、白百合）の為に
6. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
7. 病気の兄弟の為に

\*関東教区お祈りカレンダー 前橋中部教会 高崎教会 高崎南教会

◇先週の説教より「キリストの香りに生きる」エフェソの信徒への手紙5:1~5、出エジプト記29:15~18 佐藤潤伝道師

「キリストの香りに生きる」とは「神に倣う者」として「愛の内に歩む」こと。その模範は、私たちが愛し、ご自身を「神への宥めの香りの献げ物」として十字架に献げられたキリストである。「キリストの香り」とは、キリストの自己犠牲の愛が神に受け入れられ喜ばれた「香ばしい香り」である。私たちが神に愛された子どもとして、この愛に応えて生きるよう招かれている。それは救われた者の感謝の応答である。

しかし、私たちは自分の力でそのような歩みを実現できない。日々の生活では人間関係や苦しみの中で、自己中心的になってしまう現実がある。だからこそ覚えるべき大切なことは、香りの源は私たちではなくキリストご自身であるということ。キリストの恵みにとどまり、聖霊によって新しくされつつ歩んでいく。

そのため不適切な言葉や貪欲を戒めている。これらは自己中心的な欲望に支配された「古い人」の生き方であり、教会を腐敗させるから。

特に貪欲は、自分の欲望を神に代えてしまう「偶像礼拝」であり、神の国を受け継ぐことはできない。その代わりに勧められているのが「感謝」。感謝は、「まだ足りない」という欲望ではなく、「キリストにおいてすでに全てが与えられている」という恵みの事実立つこと。その充足感が、貪欲を退け、互いに赦し合い愛し合う歩みを生み出していく。

「キリストの香りに生きる」その歩みは、教会だけでなく、家庭や職場、学校など日常生活のあらゆる場で現れる。自分の力で香りを放つのではない。キリストの十字架の愛に支えられ、聖霊によって新しくされつつ、感謝と赦し、自己犠牲の愛をもって歩むことによってキリストの香りが自然に滲み出てくるもの。私たちは、キリストの恵みに感謝しつつ、互いに赦し合い、隣人に仕え、日々キリストの香りに生き、主イエス・キリストを証していく者とされている。